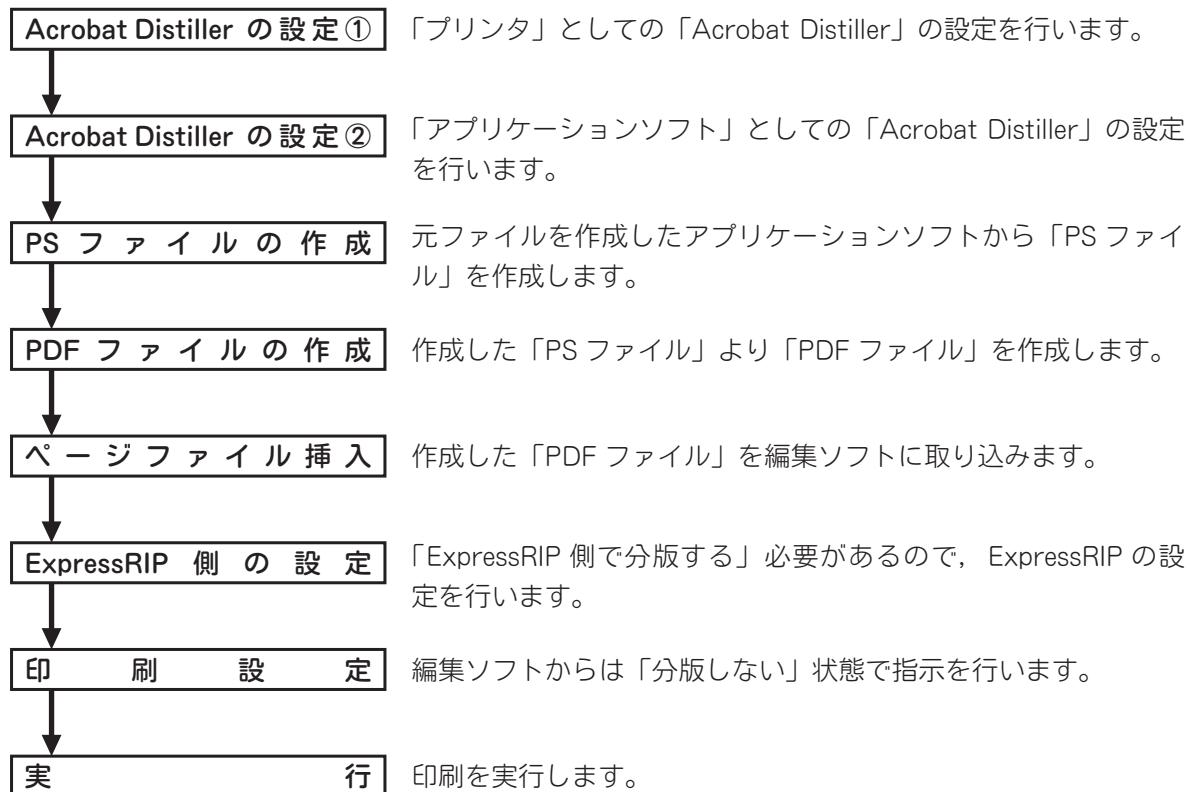


PDF ファイル挿入編

1. PDF ファイル運用の手順

編集ソフトに PDF ファイルを取り込んで出力する手順は、以下の通りです。



要 点

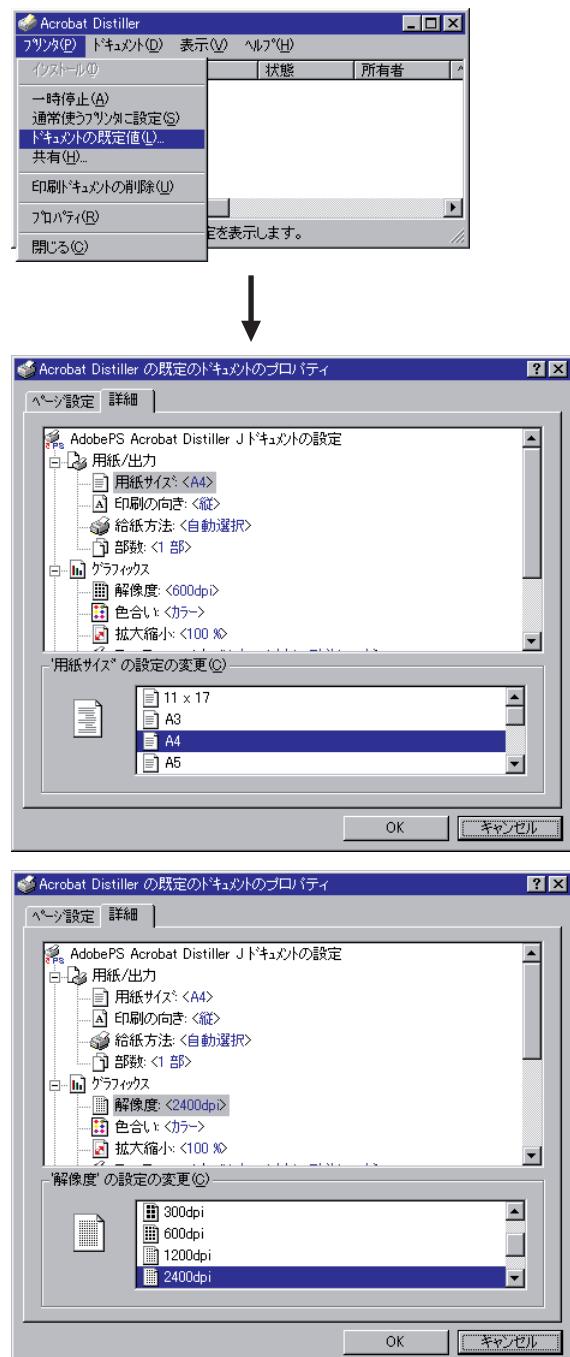
- PDF ファイルを作成する場合、必ず、一度「PS ファイル」を作成し、その「PS ファイル」を元に「PDF ファイル」を作成してください。
- 「PDF ファイル」を編集ソフトに取り込んで ExpressRIP から出力する場合は、必ず「ExpressRIP 側で分版」するようにしてください。

2. Acrobat Distiller (プリンタ) の設定

PDF ファイルを作成する場合は、一度「PS ファイル」を作成する必要があります。このとき、プリンタとして「Acrobat Distiller」を選択する必要があります。この場合「Acrobat Distiller」の設定内容は、以下の通りです。

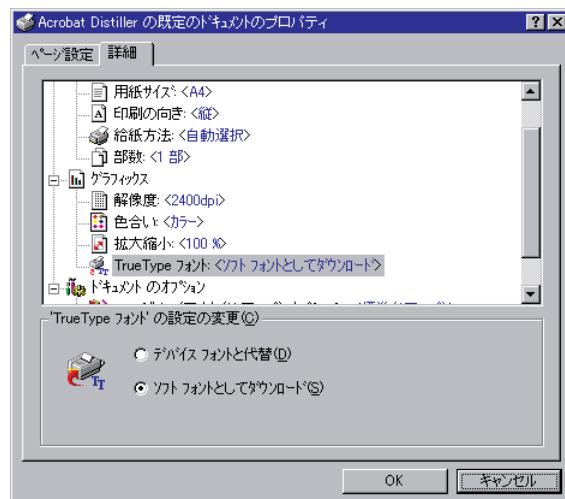
2.1 「ドキュメントの既定値」の設定

- ①「Acrobat Distiller」のウィンドウで、メニュー「プリンタ」→「ドキュメントの既定値」を選択します。

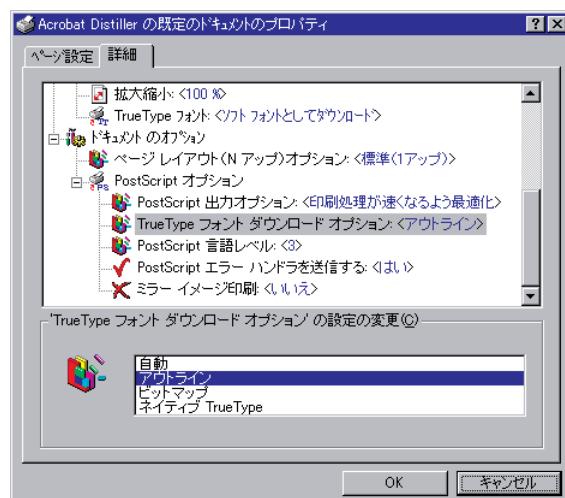


- ②「詳細」タグを選択し、「グラフィックス」→「解像度」を選択し、「最終出力の解像度」を選択します。

- ③「詳細」タグを選択し、「グラフィックス」→「TrueType フォント」を選択し、「ソフトフォントとしてダウンロード」を選択します。



- ④「ドキュメントのオプション」→「PostScript オプション」→「TrueType フォントダウンロードオプション」を選択し、「アウトライン」を選択します。



要点

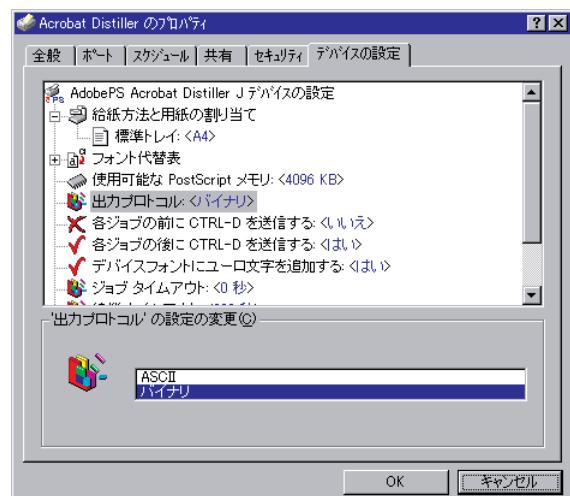
- この項目は、TrueType フォントの形式を設定します。編集ソフトに取り込んで出力する場合は、「Type 1」が適しています。そのため、必ず「アウトライン」を選択してください。

2.2 「プロパティ」の設定

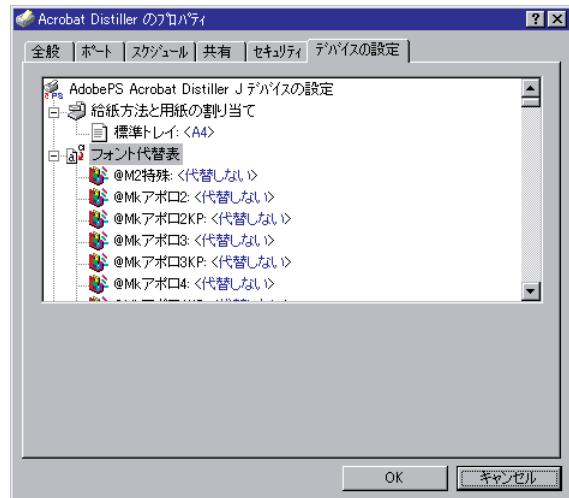
- ①「Acrobat Distiller」のウィンドウで、メニュー「プリンタ」→「プロパティ」を選択します。



- ②「デバイスの設定」タグを選択し、「出力プロトコル」を選択し、「バイナリ」を選択します。



③「デバイスの設定」タグを選択し、「フォント代替表」で、すべてのフォントに対して「代替しない」を設定します。



④以上で、「Acrobat Distiller (プリンタ)」の設定は終了です。

要点

- ここで説明した設定は、安定して運用できる設定の一例ですので、使用目的に合わせて変更してもらって構いません。

3. Acrobat Distiller (アプリケーション) の設定

Acrobat Distiller の設定は、ジョブオプションの「PressOptimised」の設定を変更して使用することをお奨めいたします。設定内容は、以下の通りです。

3.1 「一般」タグの設定

① ファイルオプション

【互換性のある形式】

作成する PDF ファイルの形式を「Acrobat3.0 (PDF1.2 形式)」「Acrobat4.0 (PDF1.3 形式)」から選択します。通常は「Acrobat4.0」を選択します。

【ASCII 形式】

このボタンをチェックすると、 ASCII 形式で作成されますので、通常はチェックしません。

【PDF の最適化】

このボタンをチェックすると、 PDF ファイルの最適化（詳細は Acrobat のマニュアルを参照）が行われますので、通常はチェックしてください。

【サムネール作成】

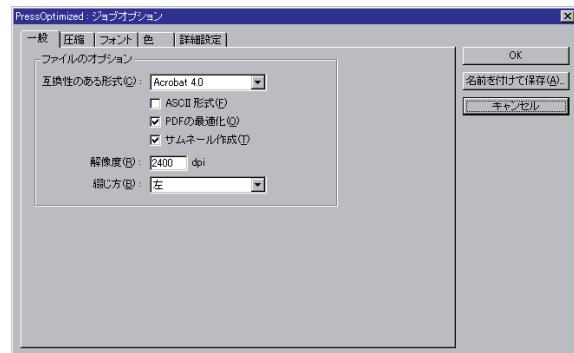
このボタンをチェックすると、 作成した PDF ファイルのサムネールを作成します。この項目は、必要に応じてチェックしてください。

【解像度】

通常は、デフォルトのままにしておいてください。（詳細は Acrobat のマニュアルを参照してください）

【綴じ方】

作成した PDF ファイルを Acrobat 上で見開き状態で見る場合の状態を設定します。この項目は、必要に応じて設定してください。

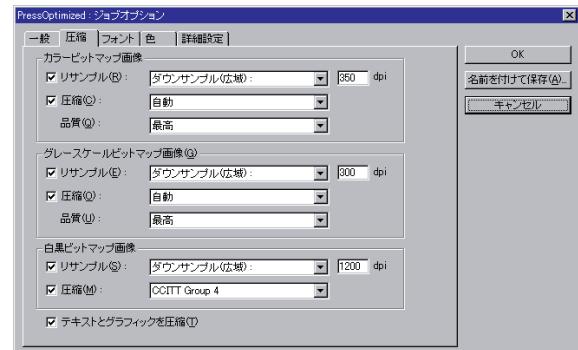


要点

- PDF ファイルを取り込む場合、編集ソフト側がプレビュー画像を作成しますので、「サムネール」が付いていなくても、ページファイル挿入に影響はありません。

3.2 「圧縮」タグの設定

右図のような設定を推奨します。ただし、使用している画像や目的によっては、必ずしもこの設定が最適とは限りませんので、必要に応じて設定し直してください。各項目の詳細については、Acrobat のマニュアルを参照してください。



要点

- 画像の圧縮は、PDF ファイルを出力する場合の品質に大きく影響を与える項目です。PDF ファイルの使用目的に合わせて適切な設定を行ってください。

3.3 「フォント」タグの設定

①すべてのフォントを埋め込む

この項目は、必ずチェックしてください。

②サブセットの全フォントに対する割合

「100%」に設定してください。

③埋め込めなかったときの処理

「無視する」「警告した後続行する」「ジョブをキャンセルする」から選択します。通常は「警告した後続行する」を選択してください。



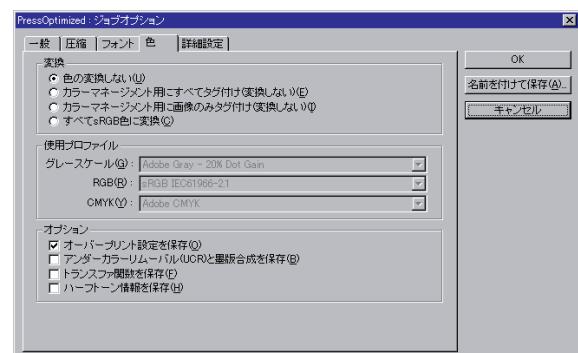
3.4 「色」タグの設定

①変換

ここでは、色変換の方法を設定します。通常は「色の変換をしない」を選択してください。

②使用プロファイル

画像に対するプロファイルを選択します。上記「変換」で「色の変換をしない」を選択しているので、この項目は設定できません。



③オプション

【オーバープリント設定を保存】

元ファイルを作成したアプリケーションソフト側で設定した「オーバープリント」の設定を PDF ファイルに反映させるかどうかを設定します。通常はチェックしてください。

【アンダーカラーリムーバル (UCR) と墨版合成を保存】

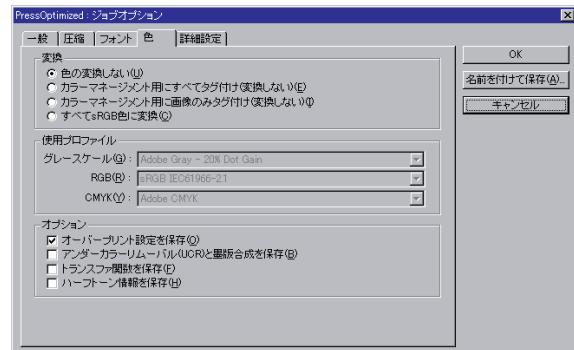
通常は、RIP 側で設定する内容なので、チェックしないでください。

【トランスマニア関数を保存】

通常は、RIP 側で設定する内容なので、チェックしないでください。

【ハーフトーン情報を保存】

通常は、RIP 側で設定する内容なので、チェックしないでください。

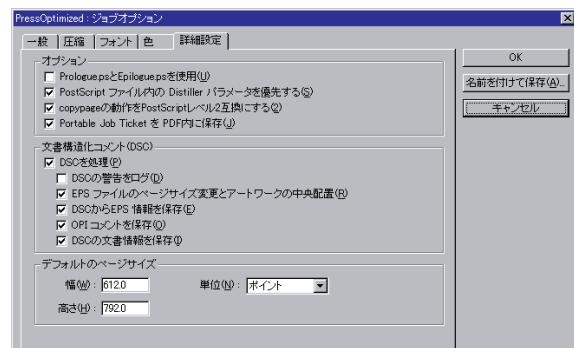


要点

- ・「オプション」の各項目は、既にカラーマネジメントを使用されている場合など、使用目的に合わせて変更（チェック）してもらって構いません。

3.5 「詳細設定」タグの設定

この内容は、変更しないでください。



要点

- ・ここで説明した設定は、安定して運用できる設定の一例ですので、使用目的に合わせて変更してもらって構いません。